

札幌市東区における助け合い活動の概要

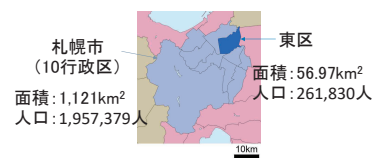
「地域食堂きらりの」は子供と高齢者の多世代交流を通じて、風物の伝習、子供の健全育成や互助意識の醸成等、共生社会の実現を目指している。企画運営は地域の大学・企業・行政推進員・ボランティア等で行っている。

札幌市東区における助け合い活動の概要

～ 支え合う街づくりを目指す多世代交流の拠点「地域食堂きらりの」～

札幌市 基礎情報

札幌市は、北海道全体の人口の約3割を占める人口190万人の大都市です。高齢化率は26.9%となっています。

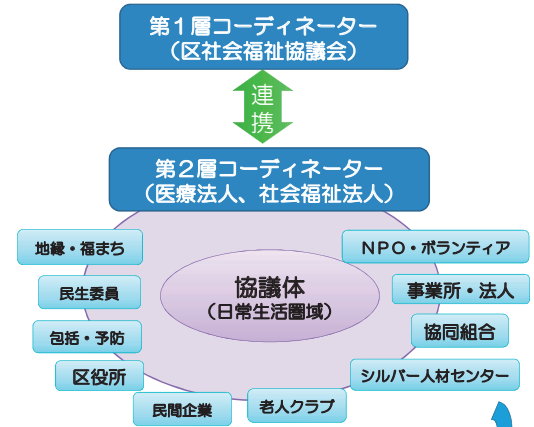


札幌市、東区、および札幌地区(きらりの所在地)の人口構成

	札幌市	東区	札幌地区
年少人口率 (0～14歳)	11.3 %	11.8 %	16.4 %
生産年齢人口率 (15～64歳)	61.8 %	62.7 %	58.3 %
高齢化率 (65歳以上)	26.9 %	25.6 %	25.3 %

札幌地区は、東区平均より高齢化率が-0.3ポイント、年少人口率が+4.6ポイントの「若い」地域。

生活支援体制整備事業の実施体制



「地域食堂きらりの」の概要

子ども、保護者、高齢者、障がい者、外国人、誰でも来ることが出来る「居場所」作りと季節の行事や食事、農場収穫体験を通して、「食育」と「文化の継承」を実践する「多世代交流」を目的に平成29年8月にオープン。地域の医療法人(豊生会)が実施主体となり、NPO(ニルスの会)が運営。月1回土曜日に開催。



- 協議体メンバー
- 学生ボランティア
- 食生活改善推進員
- 地元企業
- 園芸療法士等の専門家他

地域包括ケアシステムの一翼を担う



平成30年12月22日 第16回
テーマ:餅つき
もち米を蒸し、臼と杵で餅をつく、子どもたちには貴重な体験。



平成31年2月16日 第18回
テーマ:味噌づくり体験
農園で収穫した大豆を使って、味噌の仕込み作業を体験。区内にある企業とのコラボ企画。秋には出来上がった味噌で、味噌尽くし料理を堪能。



平成31年4月27日 第20回
テーマ:端午の節句
区内にある大学生と一緒に鯉のぼりの壁飾りを制作。食堂は学生たちのフィールドスタディの貴重な場になっている。



令和元年5月25日 第21回
テーマ:かかし作り
参加者全員でのかかし作りと、東警察署による交通安全ミニ講話。敷地内農園の豊作と交通安全を祈願

今後に向けて(生活支援コーディネーターとして)

利用者・運営者・支援者間には回を重ねるごとに「顔見知りの関係」が構築されてきているが、子どもから高齢者の多世代交流にとどまっている感があり、今後は障がい者等さらに広く参加を促し、誰もが集い楽しめる共生社会の象徴的活動となるよう、生活支援コーディネーターとして支援していきたい。また、築き上げた関係性から、高齢者の役割作りや次の担い手の育成、お互いさまの支え合いへと発展するようブラッシュアップに努めていく。特に運営側の支援者確保が重要であり、現在協力いただいている大学ボランティアとの関係を土台に、若い方々の参加を促し、交流の輪を拡大していく。

- 高齢者の役割作り
- 介護予防
- 健康寿命の延伸